

パブリックコメントの募集結果について

下記のとおり、「島嶼型低炭素社会システム構築委員会報告書及び、地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定」に対する意見募集を行ったところ、以下のとおりご意見が寄せられました。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

今般、寄せられたご意見及び当該ご意見に対する考え方を取りまとめましたので、公表いたします。

応募対象者：①島嶼型低炭素社会システム構築委員会報告書及び、
②地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定に関心のある方

募集期間：平成 23 年 2 月 7 日～平成 23 年 2 月 18 日 （12 日間）

応募状況：人数 6 名

応募者属性：宮古島市内在住 3 名、その他 3 名

応募手段 : e-mail 6 件

内容 : 寄せられたご意見等は、下記のとおり要約されます。

二件の募集に対し、共通する意見については「共通」へ、それ以外は①島嶼型低炭素社会システム構築、②地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定の 3 つに分類しております。

分類	意見等概要 (応募件数)	意見に対する考え方
共通 1	報告書に専門用語、カタカナが多い。市民を巻き込んだ取り組みを目指すのなら、なるべくわかりやすく、誤解が生じない表現にする必要があるのではないか。(2件)	新しい社会システムを構築するためには、新しい概念、技術などの開発、導入は必要なため、市民参加型の取り組みが展開できるよう、専門用語等の解説を報告書に追加いたします。併せて、本報告書の取り組みをホームページ、出前講座等で情報発信を行っていきます。

<p>共通 2</p>	<p>低炭素化の取り組みと同時にその他の環境負荷低減（地下水保全、CO2以外の温室効果ガス抑制）も考慮したシステムの確立と情報発信が望まれる。（2件）</p>	<p>低炭素化の取り組みは、本報告書にもあるように温暖化対策のみならず、島嶼地域の課題である資源依存脱却や地域資源を活用した地域活性化の方策として位置付けております。その他の環境負荷低減についても「いつまでも住み続けられる豊かな島」の実現に向けて併せて取り組んでいきます。</p>
<p>①-1</p>	<p>第3章の記述について宮古島市独自の「部門設定」を行うことや「対策→関連主体」の記載方法から「関連主体→対策」へ入れ替えることで、市の文化継承や誇り高き心豊かな島へ繋がる取り組みを生み出すことが出来るのではないか。（1件）</p>	<p>部門設定については、既存の地球温暖化対策関係資料との整合性及び委員会での議論を踏まえた形となっております。今後、具体的な取り組み実施していく際に必要に応じて部門設定や取り組み主体の明確化を図っていきます。</p>
<p>①-2</p>	<p>宮古島市の良さでもある地域の絆（地域コミュニティ）を活用した方策を展開してはどうか。（3件）</p>	<p>本委員会でも新しい社会システム構築には「地域力」と各分野との「連帯感」を活用した取り組みが必要不可欠で、自治会、商店街等の地域コミュニティが目標達成の重要な役割を担うものと認識しております。今後の対策実施を通し、地域コミュニティとの連携強化を図っていきます。</p>
<p>①-3</p>	<p>総合計画の実行プランや有効性、将来構想などを簡易明確化して積極的に発信していく必要がある。（1件）</p>	<p>本報告書の対策については、総合計画を始め、各個別計画との整合性を図りつつ、「エコアイランド宮古島」を市の戦略と位置付け実施していきます。</p>
<p>②-1</p>	<p>未来型「スマートエネルギーハウス」による居住実験（1件）</p>	